

診療所だより

お問合先

東栄診療所 0536-79-3311

南海トラフ地震について

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として概ね100～150年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震です。

前回の南海トラフ地震（昭和東南海地震（1944年）及び昭和南海地震（1946年））が発生してから70年以上が経過した現在では、次の南海トラフ地震発生の切迫性が高まっています。

8月8日16時43分頃に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生しました。この地震の発生に伴って、南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられたことから、8月8日19時15分に「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表されました。その後、地震の発生から1週間経過したことから8月15日17時をもって、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」発表に伴う「特別な注意の呼びかけ」は終了しております。

地震に対しての日頃からの備え

南海トラフ沿いでは、いつ大規模地震が発生してもおかしくないことに変わりはありません。「特別な注意の呼びかけ」は終了しておりますが、地震への備えを今一度確認しておきましょう。

災害に備えて

東栄診療所では、薬の予備を1週間程度準備しておくことをおすすめしています。

災害時は、公共交通機関が利用できず受診をしたくても、できない場合があります。予備分の薬を希望される方は、診察時に主治医にご相談ください。

お薬手帳と予備分の薬を外出時も携帯するようにしましょう。

外出先で被災した際、かかりつけの医療機関以外に受診することも考えられます。外出の際は、お薬手帳と予備分の薬も携帯するようにしましょう。

また過去には、避難先から自宅に薬を取りに戻り、再度災害にあわれた方もいたそうです。薬を持たずに避難した場合、安全が確認できるまで薬を取りに自宅に帰らないようにしましょう。

食料・飲料などの備蓄について

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ、普段の生活の中で利用されている食品等を備えるようにしましょう。

●かぜ症状のある方の受診・診察について

発熱はなくても、咳が出る、のどが痛いなどの風邪症状がある方も発熱外来で対応させて頂く場合があります。風邪症状のある方は直接来院せず、まずは電話でお問い合わせください。（東栄診療所：79-3311）

また、発熱外来の診療についてはお待たせすることのないよう心がけておりますが、外来診療の状況によりお時間を頂く場合もございますのでご了承ください。

●受付時間について

正面玄関の開錠時間は7時45分、受付開始時間は8時00分からとなります。予約外の受付は、午前の診療は11時00分まで、午後の診療は4時00分までとなります。

●住民健診について

本年度の住民健診では循環器内科のみ、又は整形外科のみで定期受診されている方は、診察時に住民健診を受けることができません。あらためて集団健診（月曜日午後）に予約をいれていただくか、個別での住民健診にて予約をお取りください。

●9月の住民健診(集団)予定（受付 午後1時30分～午後4時00分）

2日（月） 全地区

9日（月） 下川地区（市場）

30日（月） 園・下川地区（西菌目、東菌目、川角）

住民健診（集団）の受付は、東栄保健福祉センターで行います。東栄保健福祉センター玄関からお入りください。

2日の集団健診で運動器検診を受けた方と、8月30日までに個別健診で運動器検診を受けた方の、浜松医大医師による運動器検診結果説明会は9月14日（土）、を予定しており住民健診終了時に予約をとります。

●9月の予定

精神科 6日（金） 20日（金）

3日（火）の耳鼻科診療は休診となります。

4日（水）、6日（金）の清水医師の診療は休診となります。

13日（金）の眼科診療は休診となります。

東栄診療所からのお知らせは“とうえいチャンネル”又は“東栄町ホームページ”をご覧ください。